

(第 1 号議案) 地域公共交通確保維持改善事業 (地域内フィーダー系統・車両減価償却費) の事業評価について

1 概要

幹線系統を補完する路線として国の地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 (フィーダー補助金) 及び車両減価償却費等国庫補助金を受けている路線については、地域公共交通計画「別紙」(フィーダー計画) を策定し、利用者数の目標等を定めている。この度、令和 7 事業年度 (R 6 年 1 0 月～R 7 年 9 月) の運行が終了したことから、計画に基づく事業評価を行うものである。

2 事業評価及び今後の改善策 (詳細は資料 1 - 2、1 - 3、1 - 4)

(1) 事業評価

交通機関	路線名 運行地区		1 便 (回) 当たりの利用者数		
			目標	実績	達成状況
乗合 タクシー (導入順)	安佐北区	口田地区	3.5 人	4.2 人	達成
	安芸区	中野・中野東地区	5.9 人	4.9 人	未達成
	安佐南区	大塚西地区	3.8 人	4.4 人	達成
	安佐北区	可部・亀山地区	4.6 人	4.2 人	未達成
	東 区	福田地区	4.9 人	4.0 人	未達成
	東 区	戸坂地区	3.0 人	2.8 人	未達成
路線バス	今吉田線※		7.7 人	9.2 人	達成
	阿 戸 線※		6.4 人	5.9 人	未達成

※車両減価償却費等国庫補助金を活用

(2) 今後の改善策

【乗合タクシー】

運行主体である地元協議会が定期的に会議を開催し、利用促進策の実施・検討を行っているところである。加えて、令和 7 年度には、各地区協議会委員による意見交換会を開催し、各地区の優良な取組の共有を行った。

今後、各地区において、意見交換会で得られた他地区の取組を参考に、チラシやWEB上での周知、商業施設と協力した割引制度の導入など、さらなる利用促進策の実施を検討していく。また、路線バスとの乗継の利便性の向上や地域外の人にも利用しやすくなるよう G T F S の整備を検討する。

【路線バス】

バス路線沿線の地元自治会に行ったヒアリングにおいて、タイヤが使いづらいなどの意見があり、バス事業者と改善に向けた協議を行った。今後、利用状況も勘案しつつ、タイヤや運行ルート等の改善を検討する。

3 広島市地域公共交通活性化協議会陸上交通分科会の審議結果

全会一致で承認 (意見なし)